



福井鋌螺株式会社

既存のシステムをうまく使う

製造業

それぞれの機械の状況をパトランプで目視確認していたが、自席で状況確認したいという要望があり、ラズベリーパイというものを機械につなぎ、稼働状況の情報を集め、端末に送信するような仕組みを作った。今後は、脱ハンコへの取り組みや承認する文書を上司へ紙ベースで行っていたものを廃止し、データで承認する仕組みを構築する予定である。

経営企画課情報システム係 遠藤光男さん

株式会社 SHINDO

どこに投資するかが鍵

現状は、OCR（紙文書をスキャナーで読み込み、書かれている文字を認識する技術）での受注自動取り込みや自動発注システムによる在庫推移の予測を行っている。しかし、OCRは手動での受注処理が残っているため、完全に自動化に至っていない。製造業は人が基本であり、人の方が効率の良い工程や自動化する前段階の業務整理があるので、効果的なIT投資の順位付けは課題である。

今後は、IT投資への補助の充実やIT担当者同士の意見交換会の場を設けてもらいたい。

総務部次長 三崎智史さん



まつや千千

お客さま第一に考える

旅館業

お客さまと接するおもてなしの部分を強化していこうと思い、IT化を進めた。システムを導入し、お客さまの行動の情報を電話などで伝えるのではなく、一目で行動を把握できるようにした。

IT投資に対する補助金給付制度が欲しいが、それだけでなく、IT投資の内容を市内企業で共有できるような仕組みづくりをしてほしい。

経営企画室 森田雄一郎さん

北陸福井あわら温泉 美松

いいものは取り入れたい

社内の連絡は結局LINEで行っている。AIコンシェルジュは、学習していくものではなく、定型のやりとりのみとなっている。今後の取り組みとしては、チャットボットの導入も考えているが、コストがかかるものばかりであるため、何か旅館に合うようなものを紹介してほしい。他業種の工夫をサービス業にも取り入れたいので、販売・製造業などの実際の現場見学できるような時間を作ってほしい。

代表取締役社長 前田健二さん



グランディア芳泉

さらなる業務改善を

現状は、労働時間管理とマルチタスクの使用や情報伝達のデジタル化、顧客情報管理の一元化などがあり、生産性の向上や仕事の正確性が増すなど、さまざまな効果がみられる。今後は、チェックアウトの精算業務を自動化することやデジタル表示の充実、お客さまの館内滞在中の施設情報発信ツールの導入などを進めていく。システムの補助制度や情報共有、DX推進に特化した人材を紹介してほしい。

常務取締役 山口高澄さん

あわら市DX推進セミナー

7月23日（金）にあわら市役所で「あわら市DX推進セミナー」を開催しました。この日は、市内の事業者を中心に関係者約60人が参加しました。

ふくい産業支援センターDX戦略アドバイザーの伊本貴士さんから「中小企業がDXに取り組むポイントについて」の講演をいただいたほか、市内外の4つの事業者からDXの取り組みについての紹介がありました。



デジタル化の波に乗り、勝ち残るために

DX（デジタルトランスフォーメーション）は、単なるシステム改革ではありません。市内の小売業、サービス業、製造業、旅館業で働く皆さんに集まっていただき、各事業者におけるDXの取り組みについての意見交換会を開催しました。

デジタル化が進む中、5年後、10年後を勝ち抜くため、取り組みの現状や成果、課題、今後の方針などについて貴重な意見をいただきました。



あわら市長 佐々木 康男

小売業



株式会社ドラフト

それぞれの課題抽出が重要

当社は、同一のワークスペースをクラウド化しており、全員の作業環境を統一し、万が一、パソコンが壊れた場合でも、すぐ同じ環境で仕事を再開できるようにしている。

DXを進めるにあたって、計画や方針策定の以前に、困りごとや課題を洗い出し、デジタル化とDX、どちらの問題になるかを分類し、課題解決へのアプローチを協議する流れが必要だと考えている。

管理部人事総務課 木下誠也さん

すててこ株式会社

思い切った姿勢が大事

社内情報共有の為に「チャットワーク」を導入している。社員全員のパソコンのスタートページとし、かつ、個人のスマホにもアプリを入れてもらうことで、報告・連絡・相談やデータのやり取りがしやすく、かつ、ログが残るようにしている。

予算編成のときDXに逆行する予算を思い切って削り、DX推進に関わる項目に割り振ってもらいたい。強制させるくらいの姿勢じゃないとDXは進まない。

代表取締役 笹原博之さん



サービス業



ファーストトレード株式会社

エンジニアの採用を

オフィス環境をリモートで実現させるようバーチャルオフィスツールを使い、環境の整備を行っている。

課題としては、システムを自社で開発するような仕組み・体制づくりを進める上で、エンジニアを確保するのが難しいことである。市には、IT人材の採用への支援や、都会からのIT企業を誘致し、情報共有や人材流入の仕組みづくりをしてほしい。

代表取締役社長 三上良平さん

あわら観光株式会社

キャッシュレスで利便性向上

店舗やタクシー車内で、キャッシュレス対応している。また、SNSを利用した旅行商品の情報発信やタクシー動態管理システムを活用した配車を行っている。

今後、手作業で作成しているカルテをデジタル化してどこからでも閲覧できるようにしたい。市との仕事が、ほとんど紙ベースで無駄が多いので改善してほしい。

代表取締役 松原淑裕さん

